

謹んで

新年の御祝詞を

申し上げます



謹賀新年

明けましておめでとうございます。
組合員の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をご家族とともに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、JAさっぽろの事業運営におきましては、組合員の皆さまからの格別なご支援とご協力を賜り、組織活動と事業推進に邁進することができましたことを厚くお礼申し上げます。
昨年の融雪は平年より早く、春耕期は好天に恵まれ春作業は順調に進み、蔬菜類は豊作傾向となりましたが、市場価格は安値で推移しました。

当JAの基幹作物である玉葱については、5月下旬からの少雨の影響もあり小玉傾向となり、収量・品質ともに平年をやや下回り市場価格も低迷気味となっております。

さて、農業情勢は、環太平洋経済連携協定（TPP11）とEUとの経済連携協定（EPA）、さらに日米貿易協定が相次いで発効され、国内農業に一層の厳しさを増すものと思われれます。

代表理事組合長 藤田 範彦

農産物が交渉カードとして利用される（犠牲にされる）可能性が極めて高い大型協定に対する生産現場の戸惑い・不安はますます大きくなっております。

平成26年に政府が定めた農協改革集中推進期間は、昨年5月末に期限を迎えておりますが、当JAにおいては、増員した「よろずサポーター相談員」の積極的な訪問活動により組合員の皆さまの相統、遺言、資産承継などの様々な相談に対応しながらニーズにあった提案を行ない、また、組合員農業所得向上へ向けては、相対取引、既存取引先への取引量の拡大および新たな取引先への販路確保等、有利販売に繋がる取り組みを進めてまいりました。

国内経済は、海外経済の減速などを背景に輸出の不振が継続しております。本年は米国の大統領選を控えており、米中関係が一段と悪化することは回避されるものと見られ、輸出は徐々に持ち直していくものと予想されますが、6月で終了が見込まれる消費税対策の反動も

ある他、米国・中国経済は成長鈍化が見込まれ、国内景気は全般的に緩やかな持ち直しに留まることが予想されます。

金融情勢では、日銀は「海外経済の減速が影響し金融緩和政策の長期化は避けられない」といった見解を示しており、当JAの収益の柱である信用・共済事業は厳しい事業環境が続くことが見込まれております。

そのような中、当JAは、情勢の変化に対応できる安定的な財務基盤を構築し、組合員の皆さまの負託に応えられる高水準の事業機能を維持するため、経営の効率化・合理化に取り組んでまいりますので、組合員の皆さまには今後ともなお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年も組合員の皆さまがご家族とともにご健勝で希望溢れる一年でありますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

- 代表理事組合長 軽部 幹夫
- 専務理事 丸岡 孝晃
- 常務理事 土田 孝夫
- 代表監事 水嶋 仁光
- 常勤監事 宮本 二三男
- 森 寿幸

他役職員一同

令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

飛田稔章



組合員並びにJA役職員の皆さまには、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆さまにおかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部蒔き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的
に支援をしてまいりたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1,100億円の生産減少額のうち3〜4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行なっております。今後も動向を注視し、北海道農業が犠牲とな

らないよう毅然とした対応を求めてまいります。

さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信することを目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところです。

引き続き、組合員・JA連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目標の達成につなげてまいります。

結びになります。今年のご干支は庚子かのえねです。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとって輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



お正月の作法

お正月は一年の大きな節目。

親戚付き合いや来客の対応などに追われ特別な時期でもあります。

マナーや礼節を学んで、新しい年を気持ち良く迎えましょう。

和文化講師：滝井ひかる

季節や年中行事に沿って和文化を幅広く楽しむ和のおけいこレッスン(煎茶道・生け花・マナー・年中行事・茶葉料理・室礼・香道・着付けなど)、NPO主催「世代や国を超えて楽しむ日本文化」講演、教育委員会主催「家庭で楽しむ季節の行事」講座など、幅広く「和」を広げる活動を展開。

「和文化.net主宰」<https://wabunka.net/>

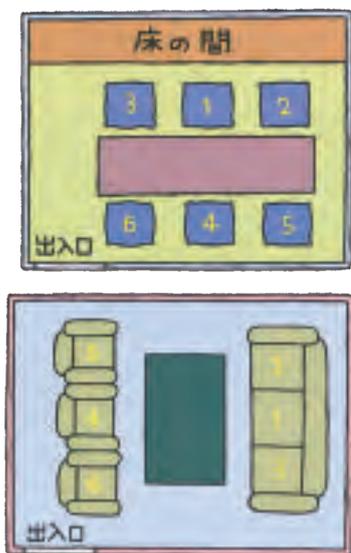
新年のご挨拶

新年に招かれたら、約束の時間より早く着き過ぎると相手に迷惑を掛けるので気を付けましょう。家にかかる場合は、玄関に入る前にコート類を脱ぐのが正式な礼儀です。挨拶だけで帰るなら着たままです。コート類を脱いでいると、家が上がっていくのかな、と相手に気を使わせてしまいます。靴を脱ぐときは、そのまま前向きに脱いで家が上がります。上がったからは人にお尻を向けないようにしゃがんで、靴の向きを変えます。冷蔵や冷凍品のお土産はその旨を伝えて玄関先で渡し、それ以外のお土産は部屋に通されてご挨拶をするときにお渡しします。「お年賀」の熨斗紙は1月7日(地域によっては15日)まで。



部屋の席次

和室、洋室共に入り口に近い席が下座。和室では床の間の前が上座です。洋室では奥から上座でソファ、アームチェア、スツールの順が目安です。目上の方に招かれたらお客様ごとの立場であっても、下座に座るのが基本です。その集まりの主役、眺めの良さ、席の広さや寒暖によっても席が決まるので臨機応変に。和室では座布団を踏まないように気を付けて、挨拶は座布団から下りてするのが礼儀。ソファや椅子に座っているとときも挨拶は立ってしましょう。



数字が小さいほど上座(T・P・O)に
応じて変わることがあります。

お酒の作法

お正月にいただくおとそは、日本酒や本みりんにとそ散(ツキヤさんしょうなど)を浸した物。長寿を願い、邪気をはらうためにいただきます。おとそは、同じ杯で年の若い順から飲んでいき、最後に年長者や厄年の人がその英気をいただく、とされています。お酒をいただく機会の多いお正月。お酌を受けるときは必ず両手で器を持ちます。注がれたら一度は口を付けてから器を置きましょう。ワイングラスだけは持ち上げずテーブルに置いたままで、手も添えません。特にワイングラスは割れやすいので、乾杯するときにはグラス同士も当たらないようにしましょう。



お茶の作法

お正月には「大福茶」でおもてなしするのはいかがでしょうか。新年最初の若水で入れた大福茶を家族でいただくと、一年元気に過ごせるといわれています。さまざまに大福茶が売られていますが、煎茶に結び昆布（縁結び・喜ぶ）・小梅（しわになるまで生き・松竹梅）・金粉などが入っています。お客さまにお出しするときは、お客さまの右側にお茶、左側にお菓子。お客さまに茶わんの正面を向けて置きましょう。めでたいデザインの生菓子や、紅白や干支のお菓子、花びら餅などがお正月らしくてお勧めです。



おせち料理のマメ知識

保存の効く縁起の良い物をいただきます。三つぞかなとして「黒豆・数の子・ごまめ（関西ではたきごぼう）」が欠かせません。まめまめしく（勤勉で健康）、魔を滅する黒豆。子孫繁栄の数の子。田作りともいうごまめや、たたきごぼうで豊作を願います。学業成就のだけ巻きは巻物に見立て。おめでたい鯛や腰が曲がるまで長生きしますように、とのエビ。お金がたまるようにと、きんとん。先を見通せるレンコンの煮物や酢バス。紅白なますや昆布巻きなども「お重」に入れて、喜びを重ねます。



新年の飾り付け

生け花アレンジメントでは、若松・南天・千両・葉ボタン・菊・柳などを生けるとぐつと新年らしくなります。季節の野菜を飾って縁起を担ぐのもお勧めです。大きな柑橘類で「大吉」。柑橘の橘は「吉」と音が通じることから、大きな柑橘は新年が「大吉」でありますようにという祈りもあります。「ふじりんご」「タカノツメ」「ナス」で、「一富士二鷹三茄子」で縁起のいい「初夢」を表すなど。七草の寄せ植えは、見ても食べても楽しめます。しめ縄も近頃はモダンなリース型になっています。お正月飾りは、12月28日までか30日に済ませましょう。29日は「苦飾り」といって縁起が悪く、31日は「一夜飾り」といって神様に失礼に当たります。1月7日（地域によっては15日）に下げます。





第21回

女性の集い

—更なる親交と結束を—

J Aさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、11月21日(木)から2日間に亘り、第21回「女性の集い」を開催。定山溪ビューホテルを会場に、女性部員162名と役職員38名の計200名が参加しました。

スケジュール

- 1日目 開会セレモニー
チャリティーオークション・定額販売
お楽しみ抽選会
懇親会・芸能発表会
- 2日目 レクリエーション
～気持ちよく運動！
いつまでも動ける体を目指して！～
講師：健康運動指導士
石川 朋美 先生

開会セレモニー



▲新女性の歌「明日、輝くために」を全員で声高らかに歌いました。

チャリティーオークション・定額販売コーナー

女性部員が不用品や手作り品を持ち寄って行なわれたチャリティーオークションと定額販売。今年の売り上げ総額は280,100円となり、その一部を社会奉仕活動の一環として札幌市子ども未来局に寄付しました。同時に、令和元年度台風等にかかるJAグループ支援募金も行ない、7,840円のご協力をいただきました。

また、本部役員主催のお楽しみ抽選会が今年も行なわれ、当選者が発表される度に会場は沸き立ちました。



▲本部役員が作成したハーバリウムボールペンも販売。

レクリエーション

～気持ちよく運動！いつまでも動ける体を目指して！～

2日目のレクリエーションでは、講師に健康運動指導士の石川朋美さんをお招きしました。その場で行なう簡単な運動を習いながら、石川先生の巧みな話術に笑いっぱなしの1時間半！あっという間に感じた充実した内容に部員の皆さんからも大好評でした。



▲「動ける心と身体を一緒に分かち合いましょう！」と話した石川先生。



組合員の活動をご紹介します!

a l a c a

芸能発表会

各支部、この日のために練習してきた成果を存分に発揮した芸能発表会。会場は、おひねりが飛び交い、歓声と拍手につつまれました。



▲今年の芸能発表は厚別支部からスタート。「サザエさん・水戸黄門・瀬戸の花嫁」をハンドベルで演奏しました。



▲南支部は、皆さんご存知「きよしのズンドコ節」で会場を盛り上げました。



▲お揃いの衣装で「恋のメキシカン・ロック」を歌って踊った豊平支部。



▲「愛情行進曲」に合わせて踊った白石支部。演目の最後に掲げるスローガンは今年も健在。



▲前半の司会を務めた西町支部の河森良子さん(左)と竹本美知子さん(右)。



▲琴似支部は「め組のひと」に合わせて、ノリノリでダンス!



▲杉田統括支店長(新琴似)が、前半に飛び入り参加。サクソで中島みゆきの「糸」を演奏!



▲後半の飛び入りで、北統括支店長(琴似)が「赤いスイートピー」を熱唱!



▲前半のトリは、今年の流行最先端の1曲「パプリカ」に挑戦した篠路支部。



▲後半の司会を務めた豊平支部の中向道子さん(左)と吉田朝子さん(右)。



▲新琴似支部は、氷川きよしの「大丈夫」で会場のボルテージを上げまくり!



▲西町支部といえば、フラダンス!今年は「アロハウクレレ・月の夜は」で後半のトップバッターを務めました。



▲今年も川崎イツ子先生を中心に練習を重ね、「しゃんしゃん踊り」で会場を魅了した平岸支部。



▲サザエさん一家がステージに大集合!タマ大人気!!!北札幌支部の「サザエさん体操」。



▲観客も巻き込んだ手稲支部の「ひょっとこ踊り」で今年の芸能発表を締めくくりました。



11月7日(木)・8日(金)

JAさっぽろ女性部

全道JA女性部のパワーを結集 北海道リーダー研修会・家の光大会開催

JAさっぽろ女性部(菅原利恵部長)では、北区のガトーキングダムサッポロで2日間に亘り開催された「JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会」に本部役員17名で参加しました。

同研修会・大会には、全道から550名が参加。今年は、国連が採択した持続可能な開発目標「SDGs」について学びました。SDGsは、格差と飢餓の解消や気候変動の対応等17項目の目標を定め、解決していこうという世界的な運動です。講師として招かれた日本協同組合連携機構の文珠正也氏は、「もんじゅ貧困をなくすこと」、「飢餓をゼロにすること」などについて解説し、「SDGsは協同組合との親和性が高い。一人一人が自分自身の課題として捉えてほしい」と訴え、女性部の取り組みにも期待を寄せていました。

2日目に開催された、手づくり工夫展には、全道各JA女性部の自慢の作品がずらりと並び、作り方を聞き合ったり、他地区の取り組みに関心を寄せるなど、多くの交流が生まれていました。



当女性部のブースにもたくさんの手づくり品が並びました。



10月17日(木)・18日(金)

中央支店イーグル会

今年のパークを締めくくる 年間MVPに目黒さんと松谷さん！

中央支店イーグル会(目黒晴夫会長)では、会員14名が参加し、ニセコ方面にて2019年度第6回PG大会兼納会を開催しました。



1日目は、真狩村ふれあい広場PG場で第6回大会を開催。アップダウンが多いコースでOBが続出し、本来の実力が出せなかった方もいましたが、天候にも恵まれ楽しんでプレーすることができました。年間MVPの男性部門に目黒晴夫さん、女性部門に松谷きみゑさんが見事輝き、2019年度の成績を締めくくりました。

その後、宿泊先である「ニセコ昆布温泉 ホテル甘露の森」へ。瑞々しい肌にする効果があるメタケイ酸を豊富に含み、やわらかな感触に癒される「美人の湯」で身体を癒し、和洋折衷の夕食を堪能しました。

2日目も快晴・青空のもと、京極スリー・ユーPG場で納会大会を開催。こちらは比較的フラットなコースで深いラフもありましたが、ホールインワンも飛び出し早朝から白熱しました。会員の皆さん大変お疲れの中ではありますが、2020年度もまたお互い元気にプレーすることを約束し解散しました。

次回予告！毎年恒例秋の親睦旅行「石垣島大感謝祭4日間の旅」の様子を報告します！

(萩中特派員)





組合員の活動をご紹介します!



10月19日(土)
札幌黄ブランド化協議会

澤田玉葱部会長が札幌黄の魅力伝える

札幌市や当JAなどで構成する札幌黄ブランド化協議会では、札幌黄オーナー制度を利用する消費者などを招き、サッポロさとらんどにて札幌黄フォーラム&カレーパーティー2019を開催しました。

フォーラムでは、札幌黄の生産者を代表して玉葱部会の澤田喜幸部会長がトークセッションに参加。札幌黄を生産する上での苦勞や、魅力、これからの課題などについて話しました。

トークセッション終了後は、カレーパーティーを開催。札幌黄を使ったカレーが振舞われた他、抽選会なども行なわれ、参加者は、札幌黄の魅力とおいしさを存分に堪能していました。(高橋特派員)



10月23日(水)~26日(土)
資産管理部会新琴似支部・青色申告会新琴似支部

雪化粧した富士山の美しさに感動

資産管理部会新琴似支部(梅本正支部長)と青色申告会新琴似支部(篠田正治支部長)では、部会員とご家族23名が参加し、富士山をはじめ箱根・伊豆・富士五湖を巡る合同親睦旅行を実施しました。

初日は、銀座で昼食後、一路箱根へ。台風19号で大きな被害があった箱根でしたが、幸い影響もなく温泉と料理を堪能しました。2日目はあいにくの曇り模様で富士山は見えませんでした。忍野八海から富士山五合目を観光。河口湖オルゴール堂では世界的に貴重なオルゴールの音色や壁一面のダンスオルガンの演奏に感嘆しました。3日目は久遠寺、修善寺、太平洋から富士山を望むはずの駿河湾クルージングでしたが、悔しいかな、雨……。ですが、最終日は皆さんの願いがやっと叶い、晴れ渡った空にうっすら雪化粧の美しい富士山を拝むことができました。口々に「今回の旅行、これで思い残すことはない」と富士山を目に焼き付けて帰路につきました。(杉田特派員)



10月27日(日)~28日(月)
二十四軒農事組合

毎年恒例、笑顔で観楓会

二十四軒農事組合(村上勝雄組合長)では、組合員9名が参加し、小金湯温泉にて観楓会を実施しました。

今年は例年より参加者が少なくなりましたが、抽選会では大いに盛り上がり、おいしいお食事で宴会を楽しみました。また、温泉のおかげでお肌もつるつるとなり笑顔の2日間となりました。(中谷特派員)



 10月27日(日)~30日(水)
琴似・発寒クローバー会

伊勢神宮で「正式参拝」厳かに



琴似クローバー会(石川秋夫会長)・発寒クローバー会(山根正雄会長)では、会員28名が参加し、三重・鳥羽・大津方面にて合同研修旅行を実施しました。

伊勢神宮では、一般参拝を行なった後、琴似クローバー会の柳谷勝城副会長に事前に申し込んでいただいた「正式参拝」を執り行ないました。普段は入れない特別なエリアで参拝することができ、とても貴重な経験となりました。

旅行中は天気にも恵まれ、皆さん大満足の合同研修旅行となりました。

(佐々木特派員)



 11月2日(土)
JAさっぽろ玉葱部会

「北海道農業応援スペシャル!!!」 横江副会長、ラジオ生出演

HBCラジオの1Day企画「北海道農業応援スペシャル!!!」の公開生放送が北農ビルにて行なわれ、玉葱部会の横江勲副会長が出演しました。

この放送は、JA北海道中央会とHBCラジオが連携し、「生産者と消費者をつなぐ1日」をコンセプトに、全道各地と中継を結びながら、9時間にわたり様々な企画を実施。企画の一つとして北農ビル内で行なわれた「秋の味覚マルシェ」に当JAも出店し、オニオンスープの試食提供と札幌黄玉葱の販売を行ないました。横江副会長は、出店ブースの様子を伝えるコーナーに生出演。札幌黄の歴史や特徴などについてインタビューを受けました。北農ビルには終日大勢の人が詰め掛け、大盛況の1日となりました。



(高橋特派員)

 11月5日(火)~8日(金)
資産管理部会豊平支部

初冬の札幌を飛び出し 能登・岐阜で観光満喫

資産管理部会豊平支部(山田和彦支部長)では、部会員・ご家族16名が参加し、能登・岐阜方面へ3泊4日の研修旅行を実施しました。

道内の気温が下がる中、能登朝市・白川郷・高山市内・郡上八幡と、行く先々の天候は常に晴れ、気温は18~20℃と上着一枚で快適に視察することが出来ました。各地方の名物料理に舌鼓を打ち、夜の宴会では部会員相互の親交を深め、とても有意義な時間を過ごしました。



(植松特派員)



組合員の活動をご紹介します!



11月6日(水)~8日(金)
資産管理部会北札幌支部

クルーズやみかん狩り楽しむ

資産管理部会北札幌支部(橋場武夫支部長)では、部会員8名が参加し、横浜・熱海方面へ視察研修旅行を実施しました。

初日は、カップヌードルミュージアム横浜を見学。夕食は横浜港大さん橋国際客船ターミナルから横浜クルーズ船「ロイヤルウイング」に乗船しディナークルーズを満喫しました。

2日目は、横須賀記念艦三笠を見学し、その後葉山しおさい公園・博物館、「昭和天皇皇位継承の地」へ。園内には、旧御用邸附属邸のおもむきを残した日本庭園、相模湾の海洋生物をテーマにした博物館などがありました。昼食後、熱海市へ向かいマルフクガーデンにて、みかん狩りを思う存分満喫。宿泊先の熱海温泉で疲れをとり、宴会ではカラオケ等で大いに盛り上がりました。

最終日は、東京ベイ有明ワシントンホテルにて昼食をとり、有明駅からゆりかもめに乗車し豊洲市場で青果棟を見学し、オリンピックスタジアムを眺めて帰路につきました。

3日間晴天に恵まれ、事故・ケガなく、会員相互の親睦を深められた視察研修となりました。

(小野特派員)



11月6日(水)~8日(金)
JAさっぽろ玉葱部会

札幌産たまねぎ好評価！道外市場を視察

玉葱部会(澤田喜幸部会長)では、道外出荷市場であるTOKA(株)・広印広島青果(株)・大同印岡山大同青果(株)・倉敷青果荷受組合・徳島青果(株)の5社の視察を行ないました。

市場では、本年の作況と販売状況等の情報交換を行ない、合わせて着荷の確認をしました。札幌産は他産地と比べやや小ぶりですが、品質も良く、好評価をいただきました。視察先は、いずれも市農協合併前より取引のある市場で、担当者は「歴史ある札幌という産地を大切にしたい」とおっしゃっていました。

本年は相場が低く厳しい販売環境ですが、有利販売のお願いと高品質な品物の出荷を約束し、帰路に付きましました。

(高橋特派員)



11月6日(水)~9日(土)
資産管理部会西町支部

楽しい旅行に必要なのは、「天気、元気、現金」!?

資産管理部会西町支部(岩村利雄支部長)では、部会員24名が参加し、3泊4日の親睦旅行を実施しました。

高知県の坂本龍馬像がある桂浜から、四万十の清流川下り、土佐くろしお鉄道乗車(普通列車)、愛媛県の道後温泉と、歩くことが少ないのんびりとした行程を満喫。もちろん、疲れを感じさせず毎日の宴会と温泉も堪能しました。

「天気、元気、現金」。これは、楽しい旅行に必要な条件だと、ガイドさんが教えてくれた言葉です。4日間とも札幌と約20℃差の晴天に恵まれ、「天気が良く、元気も良く、お土産もたくさん買ったね」とガイドさんの言葉通り楽しく過ごし、車中が笑いにあふれた旅行となりました。

(菅原特派員)





11月11日(月)
女性部北札幌支部

クリスマスを彩る オリジナルリースが完成

女性部北札幌支部(土谷眞理子支部長)では、部員14名が参加し、講習会を開催しました。

今回は、アトリエYの滝口由佳先生をお招きし、プリザーブドフラワーを使ったクリスマスリースを制作。固形接着剤をグルーガンで溶かしながら、リースの土台に好みのパーツを取り付けました。慣れない高温の接着剤の取り扱いに「熱い! 熱い!」と大奮闘しながら、華やかなオリジナルリースが完成! 皆さんの個性が光る出来栄えに、大満足の講習会となりました。(水野特派員)



11月12日(火)
青年部琴似支部

オリジナルチョコレート作って パティシエ気分

青年部琴似支部(近藤克宜支部長)では、秋の見学会として部員9名参加のもと、今年リニューアルした白い恋人パークを訪問しました。

新設されたチョコレートルームでは、掛け声をかけながらチョコレートを型に流し込み、それぞれのアイデアで装飾を施しオリジナルのチョコレート作り。大人でも童心に返り、楽しむことのできる貴重な体験となりました。平日にも関わらず、国内外の多くの人々で賑わっており、観光地としても人気のあるスポットでした。見学後は味覚園にて食事をとり、今年最後の支部行事として締めくくりました。

(須澤特派員)



11月23日(土・祝)
中央統括支店

北海道神宮新嘗祭で宝船を献上

中央統括支店では、勤労感謝の日に北海道神宮で行なわれた新嘗祭に地元農作物をふんだんに使った宝船2艘を献上しました。

宝船は、新嘗祭の前日に組合員の指導を受けながら同支店職員が制作。



それぞれ「繁栄丸」、「豊作丸」と名付けられ、北海道神宮本殿入口に飾られました。神宮内は、新嘗祭の参列者に加え、国内外からの観光客で大変賑わっており、大きな宝船は特に注目を集めていました。

当JAから藤田組合長と内藤晋一中央統括支店長が参列し、今年の収穫を感謝し、農業の繁栄を祈願しました。



組合員の活動をご紹介します!

a l a c a

☀️ どなたも大歓迎の憩いの空間をご紹介します! 「笑顔が集う場所😊どりーむ」

北札幌地区組合員の徳橋範英さん(JA共済代理店 美住自動車工業(株)会長)が代表を務める『笑顔が集う場所😊どりーむ』は、東区の東苗穂4条会館を会場に、家庭用岩盤浴などの健康器具を多数備え、健康増進と憩いの場として多くの人々が利用しています。

徳橋さんは、「仕事を退いたシニア世代が集う場所を作るのが私の長年の夢であり、そうした私の意見に賛同してくれた仲間たちとともに立ち上げたのが“どりーむ”です。設置している健康器具は、皆の自宅にあったものを持ち寄って、大勢が使えるようにしました。第一線を退くと、人付き合いも減り、居場所が無く退屈している人も多いと聞きます。健康増進を目指す方、仲間がほしい方、一度、どりーむに来てみませんか?最初は1人で来る方ばかりですが、すぐに仲間ができますよ」と話してくれました。

不定期で理学療法士や言語聴覚士の方が参加し、健康相談も可能とのこと。利用者の最高齢は90代、遠方からバスで通う方もいるそうなので、是非一度、足を運んでみてはいかがでしょうか。



この建物の2階で活動しています。新しい仲間をみんな待っています!

「笑顔が集う場所😊どりーむ」

場所:東苗穂4条会館 札幌市東区東苗穂4条3丁目2-5
(ホンダカーズ東苗穂さん横)

日時:月~土(日曜休館) 13:00~17:00

利用料:1回300円 ※初回の見学・体験は無料

※飲み物はご持参ください。また、ゴミは各自お持ち帰りください。
※会場は2階で、エレベーターはありませんので予めご了承ください。

☆東苗穂4条会館では、1階にて多彩な文化活動「自由の集い」も開催しています。こちらもどなたでも参加できますので、どうぞご利用ください。

毎週火曜日 麻雀
第2・第4火曜日 水彩画・書道・手芸・絵手紙・囲碁・将棋など
第1~第4土曜日 カラオケ

お問い合わせ先:080-1875-4477(管理人 有働)
090-9515-2235(サポーター 林)
090-3119-5223(理学療法士 酒井)
090-2875-4076(代表 徳橋)



遠赤外線で体ポカポカ!



健康器具に手すりを付けてより安全に。



こちらは、なんと岩盤浴の機械。人目が気にならないようにカーテンも取り付けました。



健康器具を使ったり、麻雀をしたり皆さん自由に過ごしていました☆

令和2年 札幌市中央卸売市場 休市日一覧

月	休市日
1	7(火)※青果部のみ休市、8(水)、12(日)、13(月・祝)、19(日)、22(水)、26(日)、29(水)
2	2(日)、5(水)、9(日)、11(火・祝)、16(日)、19(水)、23(日)、24(月・祝)
3	1(日)、4(水)、8(日)、11(水)、15(日)、20(金・祝)、22(日)、25(水)、29(日)
4	1(水)、5(日)、8(水)、12(日)、15(水)、19(日)、22(水)、26(日)、29(水・祝)
5	3(日・祝)※青果部のみ休市、4(月・祝)、5(火・祝)、6(水・振)※水産部のみ休市、10(日)、13(水)、17(日)、20(水)、24(日)、27(水)、31(日)
6	3(水)、7(日)、10(水)、14(日)、17(水)、21(日)、24(水)、28(日)
7	1(水)、5(日)、8(水)※水産部のみ休市、12(日)、15(水)、19(日)、23(木・祝)、26(日)、29(水)
8	2(日)、5(水)、9(日)、10(月・祝)、14(金)、15(土)、16(日)、19(水)、23(日)、26(水)、30(日)
9	2(水)、6(日)、9(水)、13(日)、16(水)、20(日)、21(月・祝)、27(日)、30(水)※青果部のみ休市
10	4(日)、7(水)、11(日)、14(水)、18(日)、21(水)、25(日)、28(水)
11	1(日)、3(火)、8(日)、11(水)、15(日)、18(水)、22(日)、23(月・祝)、29(日)
12	2(水)、6(日)、9(水)、13(日)、16(水)、20(日)、23(水)

※初市は1月5日(日)、最終市は12月30日(水)です。

JAさっぽろDATA

(令和元年11月末業務実績) (令和元年10月末業務実績)

組合員数	正組合員	3,667名	正組合員	3,671名
	准組合員	31,984名	准組合員	31,946名
	合計	35,651名	合計	35,617名
出資金残高	61億7千3百万円		61億2千1百万円	
販売取扱高	15億円		13億7百万円	
購買供給高	7億4千6百万円		6億7千4百万円	
貯金残高	3,282億1千5百万円		3,285億6千7百万円	
融資残高	887億7千8百万円		886億2千4百万円	
共済保有高	5,968億4千7百万円		5,959億8千4百万円	
施設建設取扱高	3億1千9百万円		2億9千2百万円	
管理受託戸数	4,615戸		4,602戸	